



# 栄小学校だより

令和5年3月24日(金) No.46

## ○本日、修了式・離任式を行いました。

3月24日(金)、栄小学校体育館にて、令和4年度修了式・離任式を行いました。

修了式では、校長から「1年間でみんなはとても成長しました」、「この1年間の反省をして次の1年につなげましょう」、「教科書をもう一度見直して、この1年はどんな勉強をしてきたかを思い出しましょう」などの話をしました。最後に、「もっと、もっと成長できるようにがんばってほしい」との願いを伝えました。短い春休みですが、時間を有意義に使ってほしいと思います。

今後も栄小学校の子どもたちが何事にも努力をして、「知・徳・体」がバランスよく成長できるように見守り続けたいと思います。

保護者・地域・ボランティアの皆様、令和4年度を無事に修了することができました。この1年間、栄小学校教育活動に推進にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

引き続き、令和5年度もよろしくお願ひいたします。



3月23日 朝の会 学年別

## ○多読賞 表彰

3月22日(水)の昼休みに校長室にて「令和4年度 栄小学校多読賞表彰 後半部」を行いました。たくさん本を借りて読んだ児童に「多読賞」、さらに多くの本を読んだ児童に「スーパー多読賞」を贈りました。

本をたくさん読んでいる子どもは、とても凛々しく表彰状を受け取る姿勢もすばらしかったです。これからも本に親しんで自分を高めてほしいと思います。



## 【令和4年度 4月当初の予定】

4月6日（木）始業式・着任式 2～5年：10時45分下校

6年：11時35分下校（入学式準備）

4月7日（金）入学式 2～6年：3限授業・11時35分下校

4月10日（月）給食開始 2～6年：平常授業（1年：給食なし・11時40分下校）

## ☆特集 保護者に向けた「親塾シリーズ」No.15

### ○春休みは新学年に向けて意識を変えよう！

春休みは1つの学年が終わる区切りです。学校の授業内容は学年が上がるにつれて難しくなり、1日の平均勉強時間も少しずつ増えていきます。

新しい学年における勉強に向けて、春休み中は少しずつ意識を変えていけると良いでしょう。「勉強時間をこれまでよりも、少し長く取ってみる」「今までよりも勉強に集中できる環境を整えてみる」「スケジュールを決めて勉強をして、学習習慣を身につける」などです。

春休みにやるべきことに個人差はありますが、大切なことは予習よりも復習に重点を置くこと。春休みは1年間勉強したことを復習する、絶好のチャンスです。これまでに勉強したことをざっと振り返り、わからなかった箇所や理解不十分なところをピックアップして、重点的に勉強しましょう。新そうすることで学年進級後の勉強でつまずきにくくなります。

### 春休み中の勉強で、親が気を付けるべきポイント！

#### ○つまずいている原因を分析する

子どもが勉強でつまずいている場合、子ども自身でつまずきの原因を分析するのは難しい面があります。わからない状態をそのまま放置しておくとう学力はアップせず、また勉強へのモチベーションも大きく下がってしまうでしょう。

つまずきが見られた場合は親がテストや問題集のミスをかかのぼって振り返り、原因を分析してください。何が原因となってつまずいているのか、どうすれば先に進めるのかを分析し、子どもと一緒に改善をしていきましょう。

#### ○適切な距離で学習内容を確認する

学年を問わず、勉強のすべてを子どもに任せてしまうのは危険です。子どもによっては学習計画や学習内容、モチベーションを一人で上手くコントロールできず、任せきりにしてしまうと思ったような学習成果は出ません。

低学年の子どもや学習習慣が身につけていない子ども、学力に不安がある子どもの場合は親が積極的に関与します。親がやるべきことを示したり、できたことを褒めたりしながら、無理なく勉強を続けられるようになるはずですよ。

反対に高学年の子どもや学習習慣が身につけている子ども、学力が安定している子どもの場合は付きっきりにならず、少し離れた距離から見守ってください。ただし放置ではありません。勉強が終わった後や食事中に勉強内容を尋ねて、しっかりと勉強が進んでいるかどうかをチェックします。困ったことがあれば、その都度フォローをしてください。

#### ○親が積極的に褒める

子どもにとって親から褒められることは、何よりもうれしいことです。勉強への大きなモチベーションとなります。ささいなことでも構わないので、親は子どもの勉強に関することを積極的に褒めてあげましょう。

「今日は1時間も勉強してすごいね」「間違えずに計算できるようになったね」「間違っていたところがあったけれど、きちんと確認してえらいね」など、ポジティブな声かけをどんどんしてください。

**伸ばそう！ 子どもたちの力！**